



# 校長室だより 足立区立第九中学校

第123号 令和2年1月8日発行 長塚琢磨



## 【新年の挨拶：自らの力で素敵な年へ！】

新年明けましておめでとうございます。令和2年がスタートしました。

第3学年の生徒は、進路決定に向け最終段階になります。まずは自分が全力を尽くすこと、そして困ったり悩んだりしたら、仲間・先生・保護者がそばにいてほしいと考えています。第1・2学年の生徒には、頑張っている先輩を心から応援するとともに、今の自分を高め、進路を自ら切り拓く準備をしておいてほしいと願っています。

第3学年の保護者から、お子様の進路選択で心が休まらないという話を聞きました。でも、心配はいりません。自分の目標と具体的な行動を確認し、毎日やるべきことを確実にやっていけばよいのです。いくつかの雑誌に書いてあった入試へのアドバイスをまとめてみましたので、温かく栄養があるものを食べさせて、助言してあげてください。

- 毎日の生活が基本です。基本的な生活ができている人が学習面でも力を発揮できるのです。
- 学力向上は、最後は自分が問題です。その孤独を超えてこそ本当の力が身に付くのです。
- 努力は夢を実現させるためのものです。夢や努力が本物ならやり遂げられるはずです。
- あせりや不安は誰でもあります。だから、勉強してそれらを少なくしているのです。
- つらいことはたくさんあります。そこから逃げずに進むから大きく成長するのです。

謹賀新年



## 【1月に贈る詩】

新年に、新たな決意をもって「磨き」「挑み」「思いやる」生徒たちにこの詩を贈ります。

新年の食卓

石垣りん

元旦に  
家族そろって顔を合わせ  
おめでとうと挨拶したら  
そこであなたは  
どこからおいでになりましたかと  
尋ね合うのもよいことです  
ほんとうのことは誰も知らない  
不思議なえにし  
たとえ親と子の間柄でも  
いのちの来歴は語りきれない  
そして、取り囲む新年の食卓  
これは島手にした二本の箸の幅ほどに  
暮らしの道はのびるだろう  
今日から明日へと続くだろう  
この小さな島に鉄道はない  
飛行機も飛ばない  
人間が“食べる”という歩調は  
昔から変わらない  
わずかに平らなテーブルの上に  
今年の花を咲かせるために  
喜びの羽音を聞くために  
杯を上げよう  
では、向きあって  
もう一度おめでとう  
互いの背後には  
新しい波がひたひたと寄せて来ている

# 【令和2年 いよいよ オリンピック・パラリンピックイヤー！】

オリンピック・パラリンピックは、国境を越え世界が一つになり、人々に感動を与えるとともに、一人一人に大きな夢や希望をもたせる大変重要な大会であると考えています。そのオリンピック 2020 東京大会まであと 198 日・パラリンピック 2020 東京大会まであと 230 日になりました。



「する」「観る」「支える」「知る」と関わり方は様々ですが、生徒たちには積極的に関わり、より大きな感動を味わうとともに、生徒一人一人がもっている無限の可能性にプラス方向に働くことを期待しています。

## コラム:知っていましたか？

### ① オリンピズムの意味

オリンピズムの目的は、「スポーツを実践することを通じて、人々が調和のとれた発達に役立てること、また平和でよりよい世界を推進することにある」と言われています。



オリンピックのモットーとしての「より速く、より高く、より強く (Citius・Altius・Fortius)」という言葉は、単に競技力を高めるというだけでなく、スポーツを通して人間を成長させるという意味が込められています。皆さんも素敵になってください。

### ② パラリンピックの言葉の起源

「パラリンピック」は、1964年の東京大会で初めて使われた言葉です。パラリンピックの「パラ」は、パラレル (parallel) 「もう一つの」という意味を表し、それまでオリンピック終了後に同じ場所で行われていた障害者スポーツの国際競技大会を「パラリンピック」と呼ぶようになり、1988年のソウル大会から正式な名称になりました。

# 【令和初のお正月！ 日本の伝統・文化に触れよう！】

オリンピック・パラリンピックは、「スポーツの祭典」であると共に「平和の祭典」でもあります。外国人に日本のイメージを聞くと、「お寿司がおいしい」「京都・奈良が素敵」など様々です。世界には様々な民族がいて、異なった生活様式や伝統・文化があります。それぞれの国や人々の違いを知ること、それを理解し尊重することは大変重要です。私たちは国際社会に生きる人間として、日本人としての自覚と誇りをもち、世界の人々と交流し、世界をよりよい方向に動かしていく必要があります。



参考：席書会の様子

まずは、日本のお正月の行事として「書き初め」や「百人一首」に親しみ、日本の字の美しさや様々な歌人の思いを知るなどを体験してほしいと願っています。昨年も、生徒たちが一字一字集中して書き上げていく姿を見て、心豊かに成長していくことを感じさせてくれました。また、百人一首では、暗記力のすごさに驚かされました。期待しています。

